

令和5年度
(令和5年3月～令和6年2月)

環境経営レポート

令和6年5月31日

甘木合同運輸株式会社

目 次

P

1. 組織の概要	(1)
2. エコアクション認証対象	(1)
3. 実施体制	(2)
4. 環境経営方針	(3)
5. 環境経営目標	(4)
6. 環境経営計画	(5)
7. 環境経営目標と実績	(6)
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	(7)
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	(8)
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	(9)

1. 組織の概要

1. 事業所名 甘木合同運輸株式会社
代表者氏名 代表取締役 今 福 弘 孝
2. 所在地 〒838-0067
福岡県朝倉市牛木294
連絡先 TEL0946-22-4111
FAX0946-23-1602
E-mail amaun2@nifty.com
3. 環境管理責任者代表取締役 今 福 弘 孝
担当者氏名 代表取締役 今 福 弘 孝
連絡先 TEL0946-22-4111
FAX0946-23-1602
E-mail amaun2@nifty.com
4. 事業の概要 トラックを使用した貨物輸送

5. 事業の規模

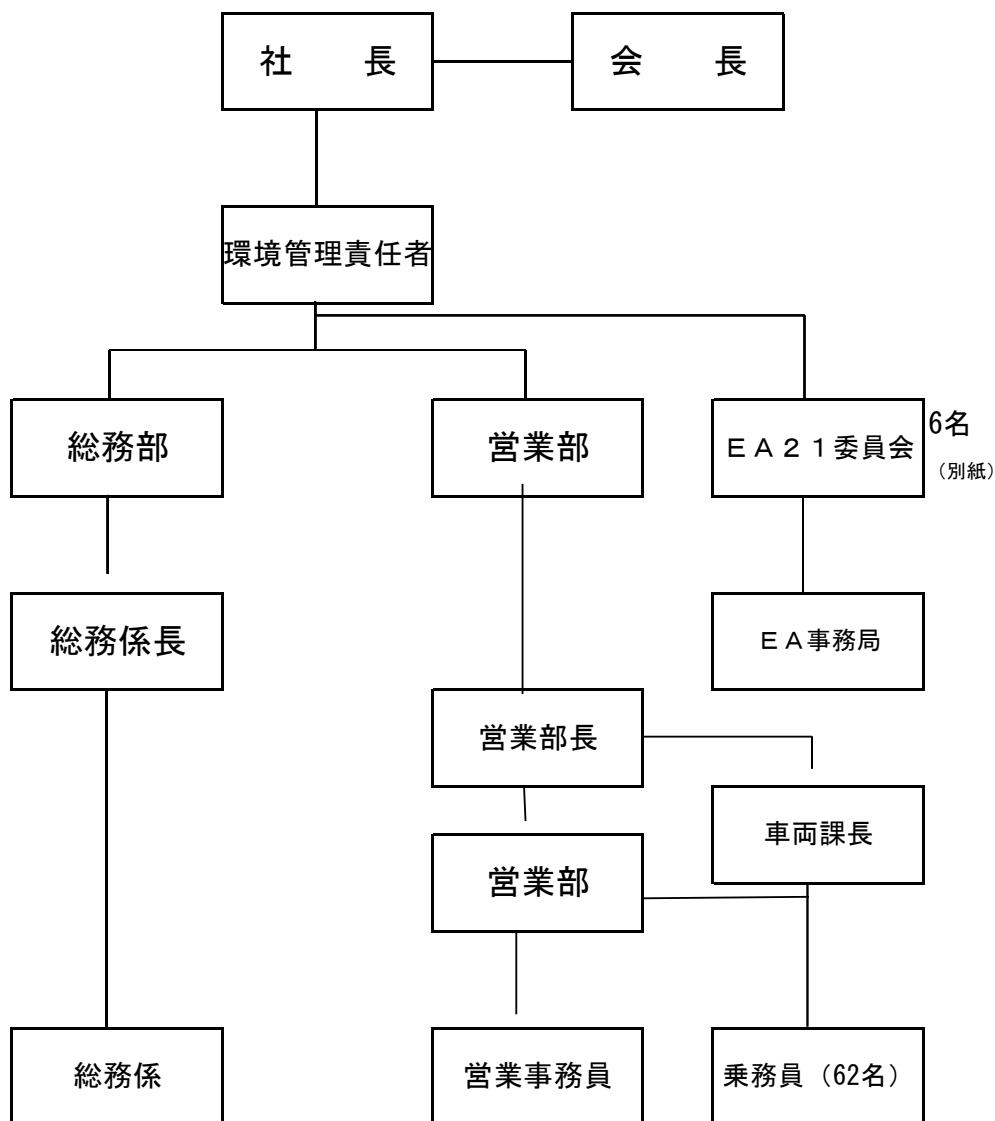
	単位	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
売上高	百万円	757	794	794	785	731	755	781	776
従業員数	人	68	66	65	65	67	67	67	67
敷地面積	m ²	7,271	7,271	7,271	7,271	7,271	7,271	7,271	7,271

6. 事業年度 3月～翌年2月

2. 認証・登録範囲

1. 対象範囲 全組織
2. 事業活動 陸上貨物運送業

3. 実施体制



社長	代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針を設定し社員全員に周知する
環境管理責任者	EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築実行し 環境実績を向上させる EA21委員会の会議結果等を社長に報告する
EA21委員会	3カ月に1回環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する
EA事務局	EA21関連文書・記録の作成管理
各部門長	環境方針や環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する 自部門の環境活動を推進する 緊急事態への準備と対応の訓練を実施する
全従業員	決められた事を守り積極的に環境活動に参加する

環 境 経 営 方 針

陸上貨物運送業による地球環境保全活動は、企業の社会的責務であり、地域社会の一員として信頼される企業となるため、法規制を遵守し環境経営の継続的改善を実施するため、次のような環境方針を定める。

環境経営方針

法規制を遵守し、環境にやさしい経営を目指す。

取り組み項目

- ①二酸化炭素排出量の削減。
 - 1.燃費の向上
 - 2.電気使用量の削減
 - 3.ガス使用量の削減
 - 4.灯油使用量の削減
- ②グリーン購入の推進
- ③廃棄物排出量の削減。
- ④水使用量の削減
- ⑤法令を遵守して廃棄物の適正処理を行う
- ⑥環境適合車への代替

平成24年11月1日制定

平成31年3月1日改定

令和 6年3月1日 改定

甘木合同運輸株式会社

代表取締役 今福 弘孝

5 環 境 経 営 目 標

項目	単位	基準年	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		H29.3～	R4.3～	R5.3～	R6.3～
		H30.2	R5.2	R6.2	R7.2
1 二酸化炭素排出量の削減。	kg-CO2	4,817,032	4,664,657	4,664,657	4,664,657
①軽油使用量	L	1,849,719	1,794,227(3%)	1,794,227(3%)	1,794,227(3%)
②ガソリン	L	6,013	3,006(50%)	3,006(50%)	3,006(50%)
③電気使用量	KWh	47,596	46,644(2%)	46,644(2%)	46,644(2%)
④ガス使用量	kg	480	384(20%)	384(20%)	384(20%)
⑤灯油使用量	L	3,020	2,416(20%)	2,416(20%)	2,416(20%)
2 燃費の向上	K/L	3.78	3.89(3%)	3.89(3%)	3.89(3%)
3 グリーン購入の推進。	品目数	24	37	38	39
①営業部門		1	3	3	3
②事務部門		23	34	35	36
4 廃棄物排出量の削減					
①一般廃棄物	Kg	832	732(12%)	715(14%)	698(16%)
②産業廃棄物(リサイクル率の向上)	%		100%	100%	100%
5 水使用量の削減					
①水使用量の削減		節水に取組む	節水に取組む	節水に取組む	節水に取組む
6 環境適合車への代替	台	4	2	2	2

※二酸化炭素排出量の削減目標値は基準年に対する削減率

※水は地下水で計量出来ないで節水活動に取り組む。

※基準年の購入電力の二酸化炭素排出係数については、新出光平成29年度調整後排出係数0.459kg-CO2/kWhを用いています。

※コロナの影響で平成29年度を基準とし平成29年度の二酸化炭素排出量を環境への負荷チェックシート(エネルギー使用量)で計算しなおした。

6.環境経営計画

環境経営計画（令和5年3月～令和6年2月）

項	目	担当者	実施時期
1 二酸化炭素排出量の削減のための取組（責任者 営業部長）			
①軽油使用量の削減	※運行ごとの燃費調査	配車担当	毎回
	※デジタコによる指導	配車担当	点呼時
	※省燃費運転の講習	車両担当	8月
②電気使用量の削減	※蛍光灯の消灯及び管理	総務係	随時(業務終了後)
	※空調機の管理	総務係	設定温度28度
	※コンプレッサーの電源オフ	車両担当	18時以降電源オフ
③ガス使用量の削減	※温水器の種火消火	総務係	随時(業務終了後)
④灯油使用量の削減	※無人でのストーブの消火	総務係	随時(業務終了後)
2 グリーン購入の推進（責任者 総務係長）			
	※コピー用紙(再生紙)の購入	総務係	注文時
	※エコタイヤの購入	車両担当	注文時
	※その他用品の再生品購入	総務係	注文時
		営業・車両担当	注文時
3 廃棄物排出量の削減（責任者 車両課長）			
①一般廃棄物		総務係	毎日
②廃タイヤ	整備管理者からの個別指導を徹底する	車両担当	(定期的なローテーション)
4 水使用量の削減（責任者 車両課長）			
①水使用量の削減	※洗車時にこまめに水道ストップ	車両担当	洗車時
	※水道の蛇口を硬く閉める	総務係	随時
5 法令を遵守して廃棄物の適正処理を行う（責任者 車両課長）			
①マニフェストの発行		車両担当	随時
②マニフェストの管理		車両担当	随時
③知事への報告		総務担当	毎年6月
6 環境適合車への代替（責任者 社長）			
		社長	随時

7. 環 境 経 営 目 標 と 実 績

項目	単位	基準年	目標値	実績	備考
		H29.3～ H30.2	R5.3～ R6.2		
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	4,817,032	4,664,657	4,536,361	達成
①軽油使用量	L	1,849,719	1,794,227 (3%)	1,745,154	達成
②ガソリン	L	6,013	3,006 (50%)	4,206	未達成
③電気使用量	kWh	47,596	46,644 (2%)	40793	達成
④ガス使用量	kg	480	384 (20%)	278	達成
⑤灯油使用量	L	3,020	2,416 (20%)	1,826	達成
2 燃費の向上	km/L	3.78	3.89(3%)	3.84	未達成
3 グリーン購入の推進。	品目数	24	38	39	達成
①営業部門		1	3	3	達成
②事務部門		23	35	36	達成
4 廃棄物排出量の削減					
①一般廃棄物	kg	832	715(14%)	648	達成
②産業廃棄物	リサイクル率の向上		100%	100%	達成
5 水使用量の削減					
①水使用量の削減		節水に取り組む	節水に取り組む	節水に取り組む	節水に取り組んだ
6 環境適合車への代替	台	4	2	0	未達成

※ 目標値 (%)は基準年に対する削減率

※水は地下水で計量出来ないので節水活動に取り組む。

※基準年の購入電力の二酸化炭素排出係数については、新出光平成29年度調整後排出係数0.459kg-CO2/kWhを用いています。

※コロナの影響で平成29年度を基準とし平成29年度の二酸化炭素排出量を環境への負荷チェックシート(エネルギー使用量)で計算しなおした。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量の削減

当社では二酸化炭素排出量の99.3パーセントを軽油が占め、自社車両の軽油使用量が基準年度より運行量の減少したため、二酸化炭素の排出量は目標を達成出来た。

しかし、燃費については目標に到達しなかったのが残念であり今後の課題と考える。次年度は、再度省燃費講習等を実施し、より一層燃費向上に努めるよう教育を行いまた、売り上げを向上させた上で、二酸化炭素排出目標を達成することが望ましい。

電気はこまめに消灯し、また夏場のクーラーの使用を適温にし、近年の猛暑により使用量が想定より増大したように感じたが、目標は達成できた。

また、経済的な不透明感で新車の購入を2台にしていたが、本年度メーカーの都合で納入出来なく、未達成であったことから、二酸化炭素排出量に幾らかの影響を与えたのではと考えます。その他の項目削減は、各項目担当者に少しでも削減を実施するよう指導し達成出来た。

グリーン購入の推進。

グリーン購入については、コピー用紙・ペン・ファイルなど事務用品が主となり目標達成した。

サービス部門については、エコタイヤ及びリビルト部品を購入した。

今後もグリーン購入の増加につながるよう調査し本年度同様に目標を達成するよう活動する。

廃棄物排出量の削減。

一般廃棄物については年々減少傾向であり目標達成出来ている。今後も削減するよう指導する。

廃タイヤを削減するために、整備管理者の指導によりこまめなタイヤローテーションを実施した。

今後も、定期的なローテーション等の管理を徹底し使用可能な限り使用し、排出量の抑制に努める。

また、産業廃棄物の処理については、100パーセント法定通りの処分が出来ている。

水使用量の削減

当社は地下水を使用しているため、水の使用量は分からないが、水使用量のほとんどは、洗車でありこまめに蛇口を閉める事を徹底している。

また、風呂や流し台の蛇口もこまめに閉め使用量の削減を図った。

次年度も引き続き節水に努める。

法令を遵守して廃棄物の適正処理を行う。

当社では廃棄物委託業者の選択から、マニフェストの発行及び管理について適正に実施している。

次年度も適正処理を行う。

環境適合車への代替

新車への代替がメーカーの都合で導入出来ず本年度にずれ込む事となり、目標達成出来なかった。

次年度の目標に加え本年度の目標台数を加えた代替えとなる。

9.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が遵守すべきおもな環境関連法令は以下の通りです。

法律名	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理 及び清掃に関する 法律	委託先業者選定基準	適
	委託先基準の遵守	適
	保管基準の遵守	適
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理票(マニフェスト票)の交付	適
	管理票の写しを受けるまでの期間	適
	管理票の写しの保存期間	適
	管理票に関する定期報告(県知事)	実施
消防法	インタンク定期点検	適
自動車NOx・PM法	適合車での対象地域への運行	適
道路交通法	公道利用における法規制	適
道路運送車両法	貨物自動車点検等の法規制	適
浄化槽法	定期点検	適
自動車リサイクル法	車両購入・廃車時の自動車リサイクル法	適
家電リサイクル法	本年度該当なし	適
フロン排出抑制法	室内エアコンの点検	適

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘もありません。

10. 代表者による全体の取り組み状況の評価と見直し・指示の結果

令和5年度の二酸化炭素排出量は目標値を達成出来た。しかしながら、稼働が増えると軽油を多く使用するため、省燃費運転の向上に取り組んでいる当社としては、昨年同様燃費が目標に達しなかったことが、最大の問題と言える。

二酸化炭素の排出についても殆どが軽油であり、その他の項目についても各担当者により少しでも削減するように指導を行ったが、ガソリンの使用量が増大したことは営業活動の増加によるものであり今後も増加する可能性がある。

尚、今後もこまめな指導やチェックを実施し、削減に努めるように取り組んで行く。

環境関連法規の遵守状況は現在のところ適切であり外部とのトラブルは発生していないが、当社の業種上オイルや燃料が車両より漏れないように注意指導していく。

環境適合車(新車)については、メーカーの都合で本年度納車が出来なかったが令和6年3月と5月に納車予定である。今後も新車発注より1年以上期間が要する状況なので、早めに計画を策定し発注を行う。

現在のところ、当社の環境システムは環境経営目標の達成に向け、環境経営計画や社内での役割分担が機能している。

今後も、各担当者より乗務員に対し環境活動について指導を行う。

また、環境経営方針や環境経営目標・計画、環境システム及び実施体制について現在変更や見直しの必要性はない。

令和6年4月30日

甘木合同運輸株式会社

代表取締役 今福 弘孝